

議題「農村景観とまちづくり」

- ①基幹産業とまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・ 「 」
- ②地産地消による高付加価値化（幸福価値化）・・・・ 「 」
- ③まちづくりのイメージ戦略・・・・・・・・・・・・・・・・ 「 」

【参考：美瑛町】

- ・農村景観を生かしたまちづくり「丘のまち びえい」

美瑛町の資源は「美しい農村景観」です。「丘のまち」としての知名度の向上や町のイメージアップを図ることによって、美瑛ブランドを進めています。

また、滞在型や交流型の観光を推進し、観光産業と農業が連携した地域づくりを行っています。

「日本で最も美しい村」連合に加盟するためには幾つかの条件をクリアしなければいけません。例えば、農山村としての景観・環境・文化などの地域資源が2つ以上あることです。

美瑛町の地域資源は びえいの丘 と 美瑛軟石 と青い池です。

◆「日本で最も美しい村」にするために

「最も美しい村」運動は、単にきれいな街並みを紹介する活動ではありません。美瑛町の地域資源である景観や環境を守り、美瑛町を訪れる方へのもてなしや自分のまちをきれいに、美しくすることが大切です。町民一人ひとりの心がけが「日本で最も美しい村」運動につながっていきます。

◆美瑛町の取組み

▽景観保全の取組み ▽美しい農村景観を活かしたまちづくり

▽美瑛町日本で最も美しい村づくり協議会

美瑛町の「日本で最も美しい村」づくりを担う住民の活動組織として協議会を設立。

美瑛町の農村景観は、他の町村にはない素晴らしい地域資源です。その地域資源を保全しながら活用し、名実ともに日本で最も美しい村を目指した活動を住民と一緒に取り組んでいます。

▽環境美化活動

丘のまち缶トリ一作戰、町内会の清掃活動、老人クラブの花植え

◆これからの美瑛の「日本で最も美しい村」づくり

▽景観を大切にすることは大きな意義がある

▽小さな町でも素晴らしい役割がある

▽それぞれの可能性を実現する

▽自分たちの町は自分たちの手で

▽町や村が連携し、力を合わせて

▽美瑛の良いところを発見しよう

★端野自治区にあてはめると

- ①端野自治区の地域資源は_____と_____と_____です。
- ②端野自治区のまちづくりの3本柱、農業と教育と住環境。
・5000人のまちづくり、北見自治区との共存共栄
- ③端野の農村景観は美しい……。なぜメジャーじゃないのか？
- ④旧端野町は「観光」を捨て、住民のための施策を推進した。上記3本柱。
- ⑤「美しい農村景観」を守るには「_____」を守り育てること（持続可能な農業を）
- ⑥地産地消（農産物）の高付加価値化（幸福価値化）とは……「_____」
農家レストラン、ネット販売、農産物直売所、体験農場、6次産業化……？
・高付加価値化（幸福価値化）～作る喜び・売れる喜び・生きがい～人生の豊かさ
- ⑦「美しい農村景観」→「人が見に来る」→「感動、食べてみたい、住んでみたい」→
→「おいしさ・定住化」→「人口増・起業増」→「消費増」「活性化」……繰り返される（持続的まちづくり）
- ⑧農村景観は「農業としての農村観光」VS「目的とした観光産業」
農村景観＝農業の営み 花壇より芋の花、緑肥、小麦、水田稲穂（四季の景観）
農業の営みによって作られた農村景観…… 大雪山十勝岳連峰の裾野に広がる丘陵地帯で営まれている農業の景観と、なだらかな曲線が作り出す耕作地の風景が美しい農村景観を作り出し、「丘のまちびえい」の観光資源となっています。そこには、人々の暮らしがあって、厳しい自然との戦いと、年月をかけて作られてきた美しい景観が人々の暮らしと共に息づいています。
- ⑨まちのイメージとは……「丘のまち びえい」、「絵本の里 剣淵」、「かのにのまち 枝幸」……
「_____」
「_____ たんの」
- ⑩下記写真「赤い屋根のある風景」どちらが「端野」でしょうか？

